Kenshin Disclosure 2015.9

けんしんの現況



中間期ディスクロージャー誌

2015年(平成27年)4月1日~2015年(平成27年)9月30日





けんしんの概要

本店 〒380-8668

長野市新田町1103番地1 電話 026-233-2111(代表)

設立 昭和29年11月20日 出資金 10億58百万円 組合員数 132,360人 預金残高 9,122億円 貸出金残高 2,738億円

自己資本比率 19.99% (バーゼルIIに基づく国内基準)

職員数 696人(男433人 女263人)

店舗数51店舗営業地域長野県一円

(平成27年9月30日現在)



目次

●ごあいさつ	
●預金・貸出金の推移 2	2
●自己資本額・自己資本比率の推移 2	2
⇒決算損益の推移	3
●不良債権残高・不良債権比率の推移	3
●資金運用状況····································	3
●主要経営諸指標	1
●不良債権等の情報	5
●自己資本の充実の状況等 5	5

- (注) 本資料において掲載してある計数は、下記のとおり表示して おります。
- 1. 金額

単位未満を切り捨てて表示しているため、掲載金額の合計と表中の合計欄の金額が一致しない場合があります。

- 2. 構成比
 - 小数点第3位以下を切り捨てて表示しているため、掲載している構成比の合計が100%とならない場合があります。
- 3. 諸利回·諸比率
 - 小数点第3位以下を切り捨て第2位まで表示しております。
- 4. 主要経営諸指標・自己資本の充実の状況等における残高表示 残高が全くない場合は「一」表示、表示単位未満の残高があ る場合は「O」表示、当該期に勘定科目が存在しない場合は 「/」表示しております。



理事長 黒岩 清

平素よりみなさまには、長野県信用組合(通称:**けんしん**)に格別のご高配を 賜りまして、心から感謝申しあげます。

平成27年度9月期の中間決算がまとまりましたので、ご報告申しあげます。 ご高覧を賜り、当組合の現況をご理解いただければ幸いに存じます。

さて、国内経済は総じて回復感が乏しい中で、県内経済においても、国内外の 景気変動から受ける影響が懸念される状況にあります。

私ども**けんしん**は、こうした環境のもと、一層の業績向上と経営体質の強化・ 改善に積極的に取り組んでまいりました。

その結果、上半期の主な業績は、預金残高が9,122億円(前年同期比2.50%増加)、貸出金残高が2,738億円(前年同期比2.75%増加)に増加したほか、中間純利益としては、昨年の過去最高益を更新して24億44百万円を計上するなど、着実な成果をあげることができました。

また、一層の顧客サービス向上・多様化するニーズへの対応として、平日夜間相談会(いろいろ相談会)の毎月開催開始、子供向け専用通帳(夢キッズ)の新規取扱、各種ローンの商品内容の向上、顧客企業に対する幅広い経営支援態勢の更なる充実、タブレット端末を活用した顧客支援システムの導入など、鋭意取り組んでまいりました。

一方、店舗面におきましては、諏訪支店の新築移転及び初の海外拠点となるシンガポール駐在員事務所開設に向けた準備が整い、それぞれ10月開店、開所の運びとなりました。

みなさまのご支援に対して衷心よりお礼を申しあげます。

今後、下半期におきましても、みなさまの期待と信頼に添うよう、一歩先んじる 経営に努めてまいります。

みなさまにおかれましては、今後ともご愛顧を賜りますよう心からお願い申し あげます。

平成27年10月

理事長 黒岩 清

預金

個人定期預金·「夢計画」·「手のひら口座」を主体とした個人預金及び「成長計画」を主体とした法人預金の拡大に努めた結果、前年同期比222億円増加して残高は9,122億円となりました。



貸出金

保証協会付融資、医療関連融資、国際支援融資を主体とした事業性 資金の融資及び個人ローンに積極的に取り組んだ結果、前年同期比 73億円増加して残高は2.738億円となりました。



手のひら口座

平成17年9月に取扱いを開始した「手のひら口座」《普通預金》の総残高は1,176億円となりました。



手のひら静脈認証口座「手のひら口座」

預金をお引き出しする際の本人確認を、手のひら静脈認証により行う、安全で有利な《普通預金》です。 口座のICキャッシュカードは無料で発行いたします。







自己資本額・自己資本比率の推移

自己資本

自己資本比率は、中間純利益の過去最高益を受けて自己 資本額が増加したものの、リスク・アセットが増加したため、 19.99%(前期末比0.45ポイント低下)となりました。 当組合の自己資本比率は国内基準の4%はもとより、国 際基準の8%を大幅に上回っており、経営の健全性・安定 性は十分確保しております。

自己資本比率とは、金融機関の体力を示す最も重要な指標であり、損失が発生する可能性のある資産総額(リスク・アセット)に対する、自己資本(返済の必要がない資本)の割合を示しています。この比率が高いほど、自己資金が豊富にあり経営基盤がしっかりしているといえます。



(注) 平成25年9月期までは、従来基準による値と特例措置適用後の値を併記しております。 また、平成26年3月期からは、バーゼルIIに基づく国内基準による値を記載しております。

業務純益

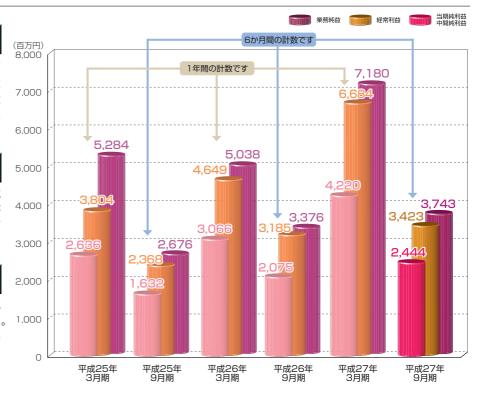
業務純益は、前年同期比3億66百万円増益の37億43百万円となりました。運用の多様化を図ったことにより、有価証券利息配当金が前年同期比4億67百万円増加したことなどに加え、経費の削減に努めたことが増益要因として挙げられます。

経常利益

経常利益は、業務純益の大幅な増益に加え、株式 関係の損益(株式等売却益、同売却損、同償却)が 改善したことを主因として、前年同期比2億38百 万円増益の34億23百万円となりました。

当期純利益・中間純利益

中間純利益は、経常利益の増益を受け、前年同期比3億68百万円増益の24億44百万円となりました。中間決算ベースでは、平成26年9月期の20億75百万円を超える過去最高益となりました。

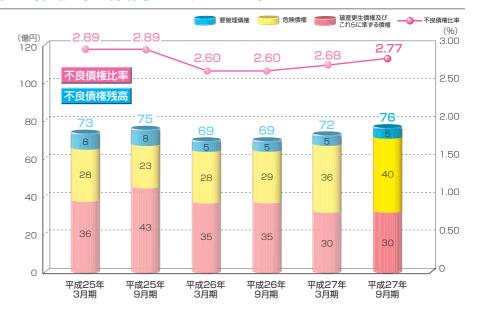


不良債権残高・不良債権比率の推移(金融再生法ベース)

不良債権

不良債権は、残高(金融再生法ベース)が76億11百万円(前期末比3億32百万円増加)となりました。また、総与信残高に占める比率は2.77%となり、前期末に比べ0.09ポイント悪化しました。

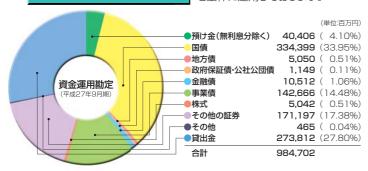
(部分直接償却を実施した場合の不良債権の額は61億30百万円となり、不良債権比率は2.24%となります。)



資金運用状況

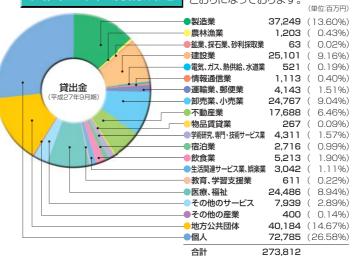
資金運用状況

有価証券運用は、安全性の高い債券 を主体に運用しております。



貸出金業種別構成比

貸出金の業種別残高構成比は次のとおりになっております。



主要経営諸指標

貸借対照表

(単位:百万円)

貝旧刈淵仪			(単位:百万円)
科目	平成26年9月期 (平成26年9月30日現在)	平成27年9月期 (平成27年9月30日現在)	平成27年3月期 (平成27年3月31日現在)
(資産の部)			
現金	10,021	11,243	10,577
預け金	31,128	40,686	29,090
有価証券	640,004	670,018	668,534
貸出金	266,465	273,812	270,336
その他資産	5,015	3,304	3,085
有形固定資産	15,719	15,577	15,744
無形固定資産	1,398	1,326	1,249
債務保証見返	684	672	564
貸倒引当金	△3,500	△4,220	△3,714
(うち個別貸倒引当金)	(△2,952)	(△3,490)	(△3,006)
資産の部合計	966,939	1,012,421	995,468
(負債の部)			
預金積金	889,962	912,256	890,699
その他負債	4,177	2,304	3,150
賞与引当金	348	393	316
役員賞与引当金	_	_	35
退職給付引当金	1,577	1,694	1,721
役員退職慰労引当金	51	36	47
睡眠預金払戻損失引当金	42	45	48
偶発損失引当金	41	63	56
繰延税金負債	4,372	10,015	11,752
債務保証	684	672	564
負債の部合計	901,258	927,482	908,394
(純資産の部)			
出資金	1,063	1,058	1,058
普通出資金	1,063	1,058	1,058
利益剰余金	48,504	52,967	50,534
利益準備金	1,063	1,058	1,063
その他利益剰余金	47,441	51,909	49,470
特別積立金	45,361	49,461	45,361
中間(当期)未処分剰余金	2,080	2,448	4,109
組合員勘定合計	49,567	54,025	51,592
その他有価証券評価差額金	16,112	30,913	35,481
評価・換算差額等合計	16,112	30,913	35,481
純資産の部合計	65,680	84,939	87,073
負債及び純資産の部合計	966,939	1,012,421	995,468

損益計算書

(単位:百万円)

科目	平成26年9月期 (平成26年4月 1日から)	平成27年9月期 (平成27年4月 1日から) 平成27年9月30日まで)	平成27年3月期 (平成26年4月 1日から) 平成27年3月31日まで)
4절 쓰는 내가 누수	(平成26年4月 1日から) 平成26年9月30日まで)		
経常収益 資金運用収益	9,144	9,415 7,244	18,890
	6,809 2,772	7,244 2.738	14,049 5,542
貸出金利息 預け金利息	2,772	2,738	5,542
有価証券利息配当金	3,991	4,458	8,434
その他の受入利息	20	20	22
役務取引等収益	257	247	491
受入為替手数料	105	106	210
その他の役務収益	151	141	280
その他業務収益	2,059	1,658	4,127
国債等債券売却益	2,052	1,649	4,078
その他の業務収益	7	8	48
その他経常収益	18	265	221
償却債権取立益	1	10	2
株式等売却益	8	254	143
その他の経常収益	8		76
経常費用	5,959	5,991	12,205
資金調達費用	478	492	957
預金利息	478	492	957
給付補塡備金繰入額	0	0	0
役務取引等費用	432	451	879
支払為替手数料	40	40	81
その他の役務費用	392	410	798
その他業務費用	439	36	633
国債等債券売却損	438	35	630
その他の業務費用	1	1	2
経費	4,472	4,405	8,928
人件費	2,391	2,504	4,823
物件費	1,901	1,720	3,756
税金	179	180	348
その他経常費用	136	606	806
貸倒引当金繰入額	107	505	629
貸出金償却	_	_	3
株式等売却損	3	81	65
株式等償却	_	2	_
その他の経常費用	25	16	107
経常利益	3,185	3,423	6,684
特別損失	77	16	110
減損損失	77	16	110
税引前中間(当期)純利益	3,108	3,407	6,574
法人税、住民税及び事業税	912	984	2,083
法人税等調整額	119	△21	270
法人税等合計	1,032	963	2,353
中間(当期)純利益	2,075	2,444	4,220

経営指標の推移

(単位:百万円)

		平成25年3月期	平成25年9月期	平成26年3月期	平成26年9月期	平成27年3月期	平成27年9月期
	経常収益	18,290	8,446	16,535	9,144	18,890	9,415
T1134	業務純益	5,284	2,676	5,038	3,376	7,180	3,743
利益	経常利益	3,804	2,368	4,649	3,185	6,684	3,423
	中間純利益(3月期は当期純利益)	2,636	1,632	3,066	2,075	4,220	2,444
	預金積金残高	846,382	868,473	867,840	889,962	890,699	912,256
	貸出金残高	254,739	258,642	264,676	266,465	270,336	273,812
残高	有価証券残高	596,543	599,633	608,117	640,004	668,534	670,018
	総資産額	906,501	926,736	929,541	966,939	995,468	1,012,421
	純資産額	53,470	51,917	55,489	65,680	87,073	84,939
	出資総額	1,063	1,063	1,063	1,063	1,058	1,058
	職員数	662人	683人	652人	673人	651人	696人

有価証券の状況

月間記分の人が、(単位古万円)								
				平成27:	年9月期			
		貸借対照表計上額		評価損益				
		貝旧刈炽衣司上码	平成27年3月期比	計劃損量	平成27年3月期比	うち評価益	うち評価損	
/0±045011	満期保有目的	102,475	△86	12,470	259	12,470		
保有目的別その他有価証券	567,542	1,571	42,522	△6,283	42,805	283		
合計		670,018	1,484	54,992	△6,024	55,275	283	
	株式	5,042	△595	1,553	△433	1,588	35	
種類別	債券	493,777	△6,281	25,286	△511	25,395	109	
	その他	171,197	8,361	28,153	△5,078	28,291	137	

⁽注)「評価損益」は、平成27年9月末時点の帳簿価額と市場価格等に基づく時価との差額を計上しております。

諸利回・諸比率

(単位:%)

	平成26年9月期	平成27年9月期	平成27年3月期
資金運用利回	1.51	1.56	1.55
経費率	1.02	0.98	1.02
資金調達原価率	1.13	1.09	1.12
総資金利鞘	0.38	0.47	0.43
預貸率(末残)	29.94	30.01	30.35
預証率(末残)	71.91	73.44	75.05
業務収支率	63.00	59.08	61.53

不良債権等の情報

リスク管理債権及び同債権に対する保全額

(単位:百万円、%)

区分			残 高 (A)	担保·保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全率 {(B+C)/A×100}
	平成27年		8 (0.00)	3	4	100.00
破綻先	3月期	*	3 (0.00)	3	_	100.00
債権	平成27年		54 (0.01)	14	39	100.00
	9月期	*	19 (0.00)	14	4	100.00
	平成27年		6,722 (2.48)	3,400	2,983	94.95
延滞債権	3月期	*	5,336 (1.98)	3,400	1,597	93.64
延/市員惟	平成27年		7,010 (2.56)	3,200	3,432	94.62
	9月期	*	5,572 (2.04)	3,200	1,994	93.23
	平成27年		- (-)	_	_	_
3か月以上	3月期	*	– (–)	_	_	_
延滞債権	平成27年		– (–)		_	_
	9月期	*	– (–)		_	_
	平成27年		527 (0.19)	313	56	70.24
貸出条件	3月期	*	527 (0.19)	313	56	70.24
緩和債権	平成27年		527 (0.19)	319	80	75.77
	9月期	*	527 (0.19)	319	80	75.77
	平成27年		7,258 (2.68)	3,717	3,044	93.16
合計	3月期	*	5,868 (2.18)	3,717	1,654	91.54
	平成27年		7,592 (2.77)	3,534	3,553	93.35
	9月期	*	6,118 (2.24)	3,534	2,079	91.74
다는/) 하나 쓰네스닷트는 F4.7 II 호						

残高()内は、貸出金残高に占める比率

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

267,067

267,067

271,109

269,711

274,679

* 273,198

(単位:百万円、%)

							(1731 J. 707
区分			残 高 (A)	担保·保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D=B+C)	保全率 (D/A×100)	貸倒引当金引当率 {C/(A-B)×100}
破産更生	平成27年		3,093 (1.14)	1,443	1,650	3,093	100.00	100.00
債権及び	3月期	*	1,695 (0.62)	1,443	252	1,695	100.00	100.00
これらに	平成27年		3,015 (1.09)	1,314	1,700	3,015	100.00	100.00
準ずる債権	9月期	*	1,534 (0.56)	1,314	220	1,534	100.00	100.00
	平成27年		3,657 (1.34)	1,973	1,344	3,318	90.72	79.85
危険債権	3月期	*	3,657 (1.35)	1,973	1,344	3,318	90.72	79.85
心疾原惟	平成27年		4,069 (1.48)	1,913	1,778	3,692	90.73	82.50
	9月期	*	4,069 (1.48)	1,913	1,778	3,692	90.73	82.50
	平成27年		527 (0.19)	313	56	370	70.24	26.62
要管理	3月期	*	527 (0.19)	313	56	370	70.24	26.62
債権	平成27年		527 (0.19)	319	80	399	75.77	38.61
	9月期	*	527 (0.19)	319	80	399	75.77	38.61
	平成27年		7,279 (2.68)	3,730	3,052	6,783	93.18	86.01
不良債権	3月期	*	5,881 (2.18)	3,730	1,654	5,384	91.56	76.92
	平成27年		7,611 (2.77)	3,546	3,560	7,106	93.36	87.58
	9月期	*	6,130 (2.24)	3,546	2,079	5,626	91.76	80.46
	平成27年		263,830		残高()内は、総与	 信残高に	占める比率
正常債権	3月期	*	263,830			,		
工市頃惟			267.067					

※部分直接償却について

9月期

平成27年3月期

平成27年 9月期

合計

当組合は、部分直接償却を実施しておりません。部分直接償却を実施した場合は、表記(※印のついた行)のとおりとなります。

部分直接償却とは、自己査定により回収不可能又は無価値と判定された担保・保証付債権等について、債権額から担保の評価額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額 (N分類債権額)を取立不能見込額として、債権額から直接減額することです。

自己資本の充実の状況等

自己資本の構成に関する開示事項

(単位:百万円)

ロロ兵への情機に因うの間が手次		(単位,日万円
項目	平成27年9月期	経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目 (1)		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る 会員勘定の額	54,025	
うち、出資金及び資本剰余金の額	1,058	
うち、利益剰余金の額	52,967	
うち、外部流出予定額(△)	_	
うち、上記以外に該当するものの額	_	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される 引当金の合計額	756	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	756	
うち、適格引当金コア資本算入額	_	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	54,782	
コア資本に係る調整項目 (2)		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係る ものを除く。)の額の合計額	192	771
うち、のれんに係るものの額	_	_
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツ に係るもの以外の額	192	771
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	192	
自己資本		
自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ)	54,589	
リスク・アセット等 (3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	248,620	
資産(オン・バランス)項目	248,373	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入 される額の合計額	771	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・ サービシング・ライツに係るものを除く。)	771	
オフ・バランス取引等項目	246	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を 8パーセントで除して得た額	24,405	
リスク・アセット等の額の合計額 (二)	273,026	
自己資本比率		
自己資本比率((八)/(二))	19.99%	

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「協同組合による金融事業に関する法律第6条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用協同組合及び信用協同組合連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第22号)」に基づき算出しております。

なお、当組合は国内基準を採用しております。

金利リスクに関する事項

アウトライヤー基準に基づく金利リスク

(単位:百万円)

	平成27年9月期
	金利リスク(アウトライヤー基準)
金利ショックに対する 経済価値の低下額 (A)	26,922

(単位:百万円)

(1 = 1/313)						
運用	勘定	調達勘定				
E.O.	金利リスク量	区分	金利リスク量			
区分	平成27年9月期		平成27年9月期			
貸出金	705	流動性預金	△294			
有価証券等	26,872	定期性預金	△368			
預け金	7					
運用勘定合計®	27.585	調達勘定合計①	△663			

金利ショックに対する

各区分ごとに参考数値を記載しております。

金利リスクの自己資本の額に対する比率は、バーゼル皿に基づく国内基準で49.31%となります。 今後も当組合は、収益性を考慮しつつ金利リスクの軽減に努めるとともに、経営体力強化の ために利益の積み上げによる自己資本の増強を図ります。

●お問い合わせ先

〒380-8668 長野市新田町1103番地1

総合企画部 TEL.026-233-2111代

 $[\pi-\Delta^{\alpha}-\mathcal{I}]$ http://www.naganokenshin.jp $[E-m\ a\ i\ l]$ nkenshin@naganokenshin.jp

